



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5210 URL http://www.yamamura.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貫 正義 TEL 06-4300-6000  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	50,668	△6.2	166	△80.4	85	△93.5	△247	—
2019年3月期第3四半期	54,014	1.2	848	△55.0	1,314	△49.9	462	6.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △973百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △1,030百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△23.57	—
2019年3月期第3四半期	44.08	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	107,147	53,815	49.9
2019年3月期	105,006	55,248	52.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 53,505百万円 2019年3月期 55,182百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	2.50	—	25.00	—
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2019年3月期の1株当たり年間配当金は50円となります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	△4.6	△100	—	△200	—	△400	—	△38.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	11,145,249株	2019年3月期	11,145,249株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	652,639株	2019年3月期	652,127株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	10,493,006株	2019年3月期3Q	10,494,321株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、製造業において弱含みが見られるものの企業収益は堅調に推移し、雇用・所得環境の改善が続く中で個人消費も持ち直しており、緩やかな回復が見られました。しかしながら、減速傾向が見られる世界経済において、通商問題や海外の政策に関する不確実性等のリスクがあり、また、国内においては消費税率引き上げ後の個人消費の動向等、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは「世界のYAMAMURAへ一心と技術を伝えたい」というビジョンを掲げた中期経営計画において、「グループ総合力の深化」と「研究開発の推進」という全体戦略、「パッケージング事業の収益力強化」と「ニューガラス事業の拡大」という事業戦略の下、グループ一体となってさらなる業績向上に取り組んでおります。

事業セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

## ① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、海外子会社において価格改定や品種構成による販売価格の上昇がありました。しかし、天候の影響に加えて他素材容器への転換が進んだこと、また消費税率引き上げでの景況感の悪化で需要が減少したこと等により国内ガラスびん業界全体の出荷量は前年同期比93.6%と減少しました。このような状況の下、当社のお荷量も減少し、セグメント売上高は34,997百万円（前年同期比4.3%減）と減収となりました。セグメント利益は、海外子会社において販売価格の上昇という増益要因もありましたが、当社における出荷量減少に伴う生産量減少等により、△288百万円（前年同期は△223百万円の損失）と損失となりました。

## ② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、当社において天候の影響等により飲料用キャップの出荷が減少したため、セグメント売上高は5,047百万円（前年同期比5.7%減）と減収となりました。セグメント利益は、当社において生産量の増加等の増益要因はありましたが、減価償却費の増加や資材単価の上昇、減収による影響等により、249百万円（前年同期比44.7%減）と減益となりました。

## ③ 物流関連事業

物流関連事業では、取扱い物量の減少等により、セグメント売上高は8,130百万円（前年同期比5.8%減）と減収となりました。セグメント利益は、生産性の改善や配送の効率化、外注費等の費用削減等により、114百万円（前年同期は9百万円）と増益となりました。

## ④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、当社の電子部品用ガラスや国内子会社の光通信用キャップ部品の出荷が減少したため、セグメント売上高は2,493百万円（前年同期比27.9%減）と減収となりました。セグメント利益は、製造経費等の削減に努めましたが、当社および国内子会社ともに減収の影響があり、また当期から連結の範囲に含めた海外子会社の立ち上がりによる損失を取り込んだため、△291百万円（前年同期は306百万円）と損失となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は50,668百万円（前年同期比6.2%減）と減収となりました。連結営業利益は166百万円（前年同期比80.4%減）と減益となり、持分法による投資利益は399百万円（前年同期比52.8%減）となったため、連結経常利益は85百万円（前年同期比93.5%減）と減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、△247百万円（前年同期は462百万円）と損失となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期における通期の業績予想につきましては、当第3四半期までの状況およびその後の経営環境等を勘案して、2019年11月8日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2020年2月7日）公表の「2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,114	13,165
受取手形及び売掛金	19,568	19,350
商品及び製品	7,174	7,398
仕掛品	224	331
原材料及び貯蔵品	2,838	2,902
その他	740	1,059
貸倒引当金	△51	△46
流動資産合計	43,609	44,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,022	7,561
機械装置及び運搬具(純額)	13,894	12,262
工具、器具及び備品(純額)	1,060	1,002
土地	10,332	10,332
建設仮勘定	291	1,773
有形固定資産合計	33,600	32,933
無形固定資産		
その他	1,512	1,415
無形固定資産合計	1,512	1,415
投資その他の資産		
投資有価証券	3,410	3,015
関係会社株式	21,457	23,357
退職給付に係る資産	860	852
その他	581	1,439
貸倒引当金	△25	△26
投資その他の資産合計	26,283	28,637
固定資産合計	61,396	62,986
資産合計	105,006	107,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,210	7,330
短期借入金	6,939	11,714
1年内償還予定の社債	100	500
未払法人税等	360	188
賞与引当金	499	225
役員賞与引当金	17	14
その他	5,727	5,110
流動負債合計	21,855	25,084
固定負債		
社債	1,500	1,000
長期借入金	20,099	21,569
リース債務	1,425	1,049
環境対策引当金	21	10
退職給付に係る負債	3,133	3,142
繰延税金負債	1,034	865
その他	687	609
固定負債合計	27,902	28,246
負債合計	49,758	53,331
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,697	16,696
利益剰余金	27,775	26,742
自己株式	△1,236	△1,237
株主資本合計	57,311	56,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,258	995
繰延ヘッジ損益	△133	△22
為替換算調整勘定	△2,715	△3,276
退職給付に係る調整累計額	△538	△467
その他の包括利益累計額合計	△2,128	△2,771
非支配株主持分	65	310
純資産合計	55,248	53,815
負債純資産合計	105,006	107,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	54,014	50,668
売上原価	44,215	42,016
売上総利益	9,798	8,651
販売費及び一般管理費	8,949	8,485
営業利益	848	166
営業外収益		
受取利息	8	15
受取配当金	71	62
持分法による投資利益	847	399
その他	362	323
営業外収益合計	1,289	801
営業外費用		
支払利息	315	316
為替差損	194	211
租税公課	111	86
その他	203	268
営業外費用合計	824	882
経常利益	1,314	85
特別利益		
固定資産売却益	5	1
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	11	1
特別損失		
固定資産売却損	53	—
固定資産廃棄損	24	5
投資有価証券売却損	—	1
関係会社株式売却損	—	110
支払補償金	—	46
特別損失合計	78	163
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,247	△76
法人税、住民税及び事業税	516	360
法人税等調整額	263	△129
法人税等合計	779	231
四半期純利益又は四半期純損失(△)	468	△308
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△60
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	462	△247

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	468	△308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△350	△263
繰延ヘッジ損益	△240	110
為替換算調整勘定	△142	△244
退職給付に係る調整額	5	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△770	△272
その他の包括利益合計	△1,498	△665
四半期包括利益	△1,030	△973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,035	△889
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△83



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,566	5,355	8,632	3,459	54,014	—	54,014
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	373	7,947	5	8,327	△8,327	—
計	36,567	5,729	16,580	3,464	62,341	△8,327	54,014
セグメント利益 又は損失(△)	△223	450	9	306	543	305	848

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額305百万円には、セグメント間取引消去等88百万円、その他の調整217百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	34,997	5,047	8,130	2,493	50,668	—	50,668
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	392	7,760	5	8,157	△8,157	—
計	34,997	5,439	15,890	2,498	58,826	△8,157	50,668
セグメント利益 又は損失(△)	△288	249	114	△291	△217	383	166

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額383百万円には、セグメント間取引消去等89百万円、その他の調整293百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。